

様式1 「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	養老町	学校名	養老町立広幡小学校			
校長名	堀田 一浩	対象学年	全学年	人数	90名	
活動名	ふるさと広幡を誇りに	時間数	1年・2年：35時間 3年～6年：70時間 全校：3時間	継続年数	28年	
題材	① 自然環境（河川・動物・植物）[金草川・水生生物、水質調査・ハリヨ・野菜づくり] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他）[長誓寺・随陽寺・馬頭観世音・田中道麿] ③ 文化（芸能・民話・風習）[広幡音頭・六社神社祭り・ふるさと広幡] ④ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [広幡ふるさとオリエンテーリング・歩け歩け大会・敬老会・地域清掃活動・稲作体験]					
複数年継続するための工夫改善	○生活科、総合的な学習の時間を中心に「ふるさと学習」のテーマを設定している。昨年度見直した年間指導計画を基に、人とのつながりを大切に、実践を行っている。 ○「ふるさと学習」で学習したことを発表する場「広幡ふるさとオリエンテーリング」を位置付け、地域の方から話していただく場を設定し、地域とのつながりを深めている。 ○学校だけではなく、地域に出てボランティア活動する地域清掃活動（ピカリーン活動）にも取り組んでいる。					

1 ねらい

- ・地域の歴史や伝統文化に関する関心と理解を深め、自分たちの住む地域に誇りと愛着をもつことができるようにする。
- ・自ら学ぶ力や生活に生きて働く力、自分の思いを人に伝える力など、生涯を通じて学び続けていくために必要な力を育成する。

2 活動の概要

全校：「広幡ふるさとオリエンテーリング」「広幡音頭」「歩け歩け大会」「地域清掃活動（ピカリーン活動）」
 縦割り班（広幡班）で地域を回り、各学年のふるさと学習で学んだことをオリエンテーリングの各ポイントで説明しあったり、地域の方に地域の歴史や自慢を教えていただいたりすることを通して、地域の歴史や産業についての理解を深める。地域の方に踊りを教えていただき、広幡盆踊りや、ふるさと秋祭り、広幡町民運動会で、地域の方と一緒に踊りを発表する。地域の行事に全校で参加することで、地域の方との親睦を深め、ふるさと広幡のよさを味わう。地域の清掃活動を地域の方と共に行うことを通して、地域の環境を守る心や地域に貢献する心を育てる。

6年：「ふるさとの偉人・先輩に学ぶ」
 江戸時代の国学者「田中道麿翁」について調べるとともに、その成果を地域の方々の前で発表している。また、地域の歴史に詳しい山口先生から道麿翁や地域の歴史、先生の生き方についてお話を聞き、地域への愛着を育む。

5年：「広幡の自然に学ぶ」（はりんこタイム）
 広幡地区にすむ「ハリヨ」の生態や、水生生物と水質の調査を行い、広幡地区の自然を知り、それを守ろうとする心を育てる。

4年：「広幡地域と水のかかわり」（はりんこタイム）
 輪中地域や現在の広幡地区の利水の様子を調べ、水との関わりを理解する。また、水とのつながりの歴史を学習し、先人の営みに誇りをもつ。

3年：「ふるさと広幡」（はりんこタイム・地域探検・地域の人と交流）
 地域を探検して地域の様子を知るとともに、公民館活動等に参加し、地域の人とともに活動して、地域の方とのコミュニケーションを深める。

2年：「ぼく・わたしの町じまん」（生活科・地域探検）
 地域を探検して見つけた町のお気に入りや興味をもったことについて調べ、全校児童や教師・保護者・地域の人に伝える。

1年：「広幡の自然となかよし」（生活科・保小交流）
 学校の周りや地域の公園、神社などに出かけ、季節の自然のお気に入りを探したり、自然を生かした遊びを工夫してこども園児と交流したりして、自然を生かした遊びを自分たちの生活に取り入れる。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・このような活動の結果、広幡小学校の児童は、地域の活動に積極的に参加し、（29年度も全国学力状況調査で地域の行事に積極的に参加していると答えた児童の割合は94%）、「広幡が大好きだ」と言える児童の姿につながっている。地域の方にもこうした学校の取組が広がり、学校に対する温かい支援が増えてきている。コミュニティ・スクールの一貫として、ボランティアの登録も含め、学校の授業や行事、様々な活動に地域の方がいろいろな形で参加して学校を応援してくださっている。
- ・1年生は、年間を通してこども園の園児と交流し、ペアをつくって活動している。2年生の地域探検の学習では、公民館長さん・各地区の区長さん方にその地域の自慢を教えていただいたり、秋祭りに参加したりした。また、地域を支えてくださる方にインタビューしたり、一緒に体験活動をしたりして、地域の方を紹介し合う活動を行った。さらに、地域の方と共に野菜づくりも行った。3年生の地域探検の学習では、公民館長さんを中心に公民館のひみつや町の自慢を紹介していただいた。4年生では、地域の方やロケ島の区長さんに、広幡地区の利水についての説明をしていただいた。
- ・5・6年生は、地域の方に田んぼをお借りして、地域のボランティアの方やJAの方に教えていただきながら、稲作体験を行った。6年生では、地域ボランティア講師に田中道麿の生き方や広幡の歴史・史跡について教えていただいた。
- ・児童会が中心となって地域清掃活動を企画し、全校児童が地域の方と共に清掃活動を行った。地域の行事「歩け歩け大会」にも多くの児童が参加した。この行事では、地域の方とふれあうよい機会になり、地域の方との親睦が深まった。その他にも、広幡夏祭り盆踊り（8月）、広幡敬老会（9月）、広幡公民館春祭り（3月）にも子どもたちが積極的に参加している。敬老会や公民館春祭りでは、学習の成果を発表したり（1・3年生）、家族の作文を発表したり（4年生）、書道や絵画の作品を展示したり（全校）するなどして参画している。今年は、養老改元1300年を記念して、町民運動会で地域の方と共に1300の人文字作りを行った。

4 活動による児童の変容（伸長・成長等）

- ・こうした活動を続けることで、地域との関わりが増え、コミュニティの一員であるという自覚が芽生えてきている。ユネスコスクールになったことにより、地域やふるさと学習に誇りをもつ心がさらに育ちつつある。
- ・1、2年生では、地域の素材や人材と繰り返しかかわる中で得た学びを、こども園児や他学年、教師、保護者、地域の人に伝える活動を通して、ふるさとのよさに改めて気づき、自ら学ぶ力を身に付けることができた。3年生では、町探検の中で出会った地域の人との交流を深める中で、人と人との温かいつながりに気づき、「ふるさと広幡」に親しみをもつことができた。4年生では、区長さんからファブリダムについての話を聞き、地域の人たちが協力してダムの水を調整・管理していること、そのおかげで地域全体で米づくりができることを知った。先人の努力によって今の生活が成り立っていることに感謝し、ふるさとを大切にしたいという心情をもつことができた。5年生では、地区の自慢のハリヨの生態を学び、水生生物調査や水質調査を行って環境の現状を知ることを通して、ふるさと広幡の自然の豊かさに感謝すると共に、これを守るために自分たちができることを考えることができた。6年生では、地域の歴史を調べる活動を通して、ふるさと広幡のすばらしさに改めて気づくとともに、田中道麿翁の「よく働き、よく学び、夢を実現させていく」生き方から、「自分たちも努力を惜しまず、夢をもって前へ進んでいきたい」という願いをもつことができた。